

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 1 月 5 日 (2012.1.5)

【公開番号】特開 2007-183093 (P2007-183093A)
 【公開日】平成 19 年 7 月 19 日 (2007.7.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-027
 【出願番号】特願 2007-528 (P2007-528)
 【国際特許分類】

F 2 3 R 3/28 (2006.01)

F 2 3 R 3/14 (2006.01)

F 0 2 C 7/22 (2006.01)

【F I】

F 2 3 R 3/28 B

F 2 3 R 3/14

F 0 2 C 7/22 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 15 日 (2011.11.15)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 6】

さらに、それらの燃料噴射器の軸状設置面積を制限するために、上記環状偏向器はそれぞれ上流と下流に、2 個の同軸の内方向の切形壁 (truncated wall) を備え、その円錐形は下流に向かって導かれる。環状分配チャンバは上記噴出オリフィスが設けられる切形壁を備え、この切形壁の外部面は、上記環状偏向器の上流の壁の内部面に平行な、またはそこに合流する母線を有する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 6】

図示したように、2 個の部品 5 1、5 3 から構成される環状偏向器 3 3 は、それぞれ上流および下流に 2 個の同軸内部切形壁 5 1 a、5 3 a を備える。壁 5 1 a は部品 5 1 中に画定される。壁 5 3 a は部品 5 3 中に画定される。これらの壁の円錐形は下流に向かって導かれる、すなわちそれらの直径は上流から下流へ向かって減少する。また、分配チャンバ 3 0 は下流の切形壁を備える。それはオリフィス 3 1 が設けられるフランジ 4 1 の壁である。この壁の外側は、環状偏向器の上流壁 5 1 a の内部面に平行な、または (本明細書の場合のように) これに合流する母線を有する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 8】

他の有利な特徴によれば、各孔 3 1 の軸はこの点で表面 5 1 a の母線に垂直である。